

議 事 録

会議の名称	令和3年度第4回フラワータウン再生推進協議会
開催の日時	令和4年3月22日(火) 10:00~11:30
開催の場所	兵庫県立 人と自然の博物館 4階大セミナー室
出席した委員の氏名	角野委員長、赤澤副委員長、水野委員、和田委員、岡田委員、福井委員、出合委員、佐々井委員、前田委員、谷舗委員、榎本委員、吉田委員(代理出席:兵庫県住宅供給公社 金澤課長)、濱本委員、印藤委員、久高委員
出席したオブザーバーの氏名	高田オブザーバー、福本オブザーバー、牧草オブザーバー、植平オブザーバー、小東オブザーバー
欠席した委員の氏名	田村委員
出席した庶務職員の職及び氏名	龍見まちの再生部参与、小倉都市政策室長 都市政策課:榎本課長、門内担当課長、神影係長、小松係長
傍聴者の人数	1名
議題	・議題1:フラワータウン再生ビジョン(案)に対する市民意見の募集結果と意見に対する市の考え方について ・議題2:フラワータウン再生ビジョンについて
公開・非公開	公開
使用した資料	・次第 ・資料Ⅰ(議題1で使用) ・資料ⅡⅢⅣ(議題2で使用) ・資料Ⅴ(その他で使用)
連絡先	まちの再生部 都市政策室 都市政策課 電話(079)-559-5127 内線2821

1 開会

<門内担当課長の司会により開会>

2 議題1 フラワータウン再生ビジョン(案)に対する市民意見の募集結果と

意見に対する市の考え方について

<事務局から資料に基づき説明>

- ・質疑及び意見なし

3 議題2 フラワータウン再生ビジョンについて

<事務局から資料に基づき説明>

水野委員

概要版、大変よくまとめていただいているが、内容をいかに市民に知ってもらうかが非常に重要と思う。概要版を使用して市民の方に対して情報発信をする機会を考えているかなどを教えて欲しい。

事務局

市民への配布用また説明用として再生ビジョンの概要版を3枚にまとめている。市民の方の要請に応じて勉強会などがあれば概要版を使用し、説明していきたいと考えている。

水野委員

広く知ってもらえる機会を多く作ってもらいたい。

委員長

市民と言っても、フラワータウンに住んでいる人、フラワータウンでのビジネス関係者はもとより、三田市全体の市民にもしっかり伝えていくことが必要だと思う。

フラワータウン再生のビジョンだが、フラワータウンに限らず、市内の問題であることをしっかり伝えていただきたいと思う。

和田委員

フラワータウンには連合自治会や各地域の統一自治会があるが、そこから声掛けして地域別に住民に集まってもらい、住民に説明会や勉強会をするのは具体的にはどのくらいの時期からか。

事務局

再生ビジョンの本編の印刷を4月以降に予定している。並行して概要版の印刷も実施していきたいと思っており、その後必要に応じて、各自治会の方から要請があれば説明会などを開催したいと考えている。

和田委員

再生ビジョンに関する説明会などは令和4年度に催せるという理解でよいか。

事務局

その予定である。

赤澤委員

説明を聞いて本編と概要版、分かりやすいと思う。これからどう進めていくのかに関連するが、この場にはいない事業者や住民は、キックオフプロジェクトがいちばん気になっている。本編81ページ以降にキックオフプロジェクトのイメージを記載しているが、概要版は紙面の都合上、キックオフプロジェクトのイメージの記載がない。この部分も幅広く広げたいという気がする。

概要版は、最初の方は様々なデータやイラストが入っているが、最後の方はシステムの説明になっている。概要版を広く市民に配るのであれば、あと1ページ増やして、一番関心が高いと思われ

るキックオフプロジェクトの具体的なものを記載し、はじめての人でも分かるような工夫をされれば良いと思う。

また、今後住民の方などに対し資料を用いて説明し、生活のプロ、仕事のプロといった仲間を増やしていくと思うが、サポートのプロである行政、三田市の他に関連部署として兵庫県が入ってくる。今回のビジョンには、総合的な施策としてニュータウン再生が記載されており、いろんなことが想定されている。パブリックコメントでも、サイクリングコースの整備や、魅力発信による移住定住促進、シェアリング構想などについてご意見をいただいていたが、例えば兵庫北摂スポーツサイクルのものづくりやお試し居住など兵庫県の阪神北県民局が実施している事業もある。今回三田市で、フラワータウンで取り組みを進めることを宣言するわけだから、いち早く県民局などと連携する体制を整える必要があると思う。

最後に、住民から深田公園について多くの意見をいただいている。国土交通省により「社会課題対応型公園整備事業」というのが今年度から始められたが、ほとんど応募がない状況である。国から都道府県に通達し、都道府県から市町に伝える仕組みとなっており、ネットで検索しても全くヒットしない。兵庫県では政令指定都市の神戸市だけで活用されており、おそらく三田市の方にまで情報が届いていない気がする。例えば、若年層、子育て世代が移住定住するために博物館と一体になって公園を使いやすくする、また、公園でイベントを実施する場合その準備のハードルを上げるために、国の交付金で対応できるのであれば、それも含めてキックオフプロジェクトで検討いただければと思う。

事務局

概要版はA3判で3枚になっている。キックオフプロジェクトについては3ページ目の最後に記載しているが、紙面の関係上、詳細の内容については割愛している。印刷の際に両面印刷となると、4ページ目があっても問題ないと思われるため、キックオフプロジェクトの詳細を載せることも検討する。

2点目、今後取り組みを進めていく中で仲間を増やしていくことをビジョンにも記載しているが、三田市だけではなく、兵庫県や県民局とも連携していきたいと考えている。

3点目、確かに市の財源だけで取り組みを進めていくことは厳しい面も想定される。今ご紹介のあった国土交通省の事業等、国による補助事業を活用することは検討していきたいと思っている。常にアンテナを張って情報を収集していきたいと思う。

出合委員

住民等への説明会について、先ほど住民の要請があればという前提で話されていたが、市の方から、このプロジェクト側から説明会を企画することはないのか。

事務局

住民の方に対する説明会は、来年度については要請のあるところからと考えている。再生ビジョンの浸透度に応じて、自治会、まち協を通じて説明会の実施についてお願いしていこうと考えている。このため、再生ビジョンのPRはまち協等で機会があれば、ぜひさせていただきたいと考えている。今後の推進体制として、住民と一緒に取り組みを進めていくことを想定している。説明だけではなく、相談や意見交換という形で進めていきたい。

金澤委員

再生ビジョンに対する意見ではないが、公社は駅ビルを所有し運営している。現在6つの空き区画がある。私のチームで昨年4区画テナント付けを行ったが、さらにフラワータウンの40周年に合わせて県と公社で連携し、新規出店の賃料やファサード整備に対し500万円を支給するという補助事業の準備を進めた。今後も家主としてビジョンと並行しテナント付けを行っていく。

事務局

パブリックコメントでもテナントの確保に対する意見があった。センター地区の機能強化に資する取り組みについては、今後も様々な方々と連携しながら進めていきたいと思っている。

委員長

人口減少と高齢化の進展を大きな課題とし、フラワータウンの再生を図るとしても、前の姿に戻るのではなく新しい形の「まち」を我々で作り直していかなければならない。

高度経済成長期のニュータウンの姿とは若干異なる部分が出てくるかもしれない。ライフスタイルも変わっていく事を前提としたまちづくりが必要になるだろう。

これからどうなるかを予想した上で、予防のための再生プランなので、地域住民や事業者と一緒に進めることが大切と考えている。「自分事」として捉え、取り組みを進めていくことが重要となるので、委員の皆様どうぞよろしくお願いしたい。

他に意見が無いので、再生ビジョンについてはこういう形でまとめられたことを全員で確認したい。議題2を終了とする。以上。